

❀ 第4回 開催報告 ❀



ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

- 日 時: 第4回 平成29年10月27日(金)19:00~21:00
- 場 所: 野母崎文化センター
- 参加者: 地域の皆さん 34人



1 市民対話 全4回の流れ

第1回 7/31

- 地域の現状を知る
- 見直し対象施設の絞り込み

第2回 8/25

- 対象施設の地域における役割と
かこい使い方を考える

第3回 9/25

- 対象施設と周りの施設とのつな
がりを考える

第4回 10/27

- 対話全体の取り
まとめ

最終回

2 野母崎地区の公共施設配置の考え方

コミュニティ施設



野母地区公民館



脇岬地区公民館



野母崎樺島地区
公民館



高浜地区公民館



野母崎ふれあい新港



野母崎文化センター



野母崎農村活性化センター

❀ コミュニティ活動の拠点となる施設は、野母崎地区では学校統廃合前の旧小学校区ごとに配置しますが、近くに同じような使い方をしている施設がある場合は、使い方や管理方法を見直します。

❀ ふれあい新港は、高齢者専用の施設としては廃止したいと考えており、廃止の時期や廃止後の施設のあり方については、地域の皆さんと話し合っていきます。

❀ 文化センターは、田の子地区全体の施設を見直していく中で、より良い使い方があれば、施設のあり方を見直します。



2 野母崎地区の公共施設配置の考え方(つづき)

スポーツ施設

❁スポーツ施設は、全ての地域につくるのではなく、長崎市民全体を対象とした施設として、市内のいろんな地域から利用しやすいような場所に施設を整備していきます。



野母崎体育館

❁大規模改修が必要となる時期に多額の改修費用を投じるか、利用状況も考慮しながら、廃止を含めて、施設のあり方を見直します。



野母崎総合運動公園水泳プール

❁かつての学校プールとしての役割は終わりました。
❁施設が老朽化し、今後、多額の改修費用がかかること、利用者が少なく、維持管理費用が高額であることから、プールは解体します。
❁跡地については、恐竜博物館の建設を予定しています。

地域センター



野母崎地域センター

❁行政手続きや地域のまちづくりを支援する拠点として、引き続き地域に必要ですが、現在の施設は老朽化しており、空きスペースも多くあるため、施設の見直しが必要です。

皆さんからの提案

- 旧福祉保健センターへの移転
- 野母崎診療所への移転
- ふれあい新港への移転
- 現在の施設の空きスペースを民間に貸し出してほしい。

※野母崎診療所には、空きスペースはありませんでした。

※ふれあい新港に移転するスペースが確保できるか検証しましたが、必要な行政機能を満たせませんでした。

物販・飲食



野母崎ふれあい市場



もぎき物産センター



野母崎総合運動公園管理棟
(レストランが入居)

観光施設



軍艦島資料館

❁観光客や野母崎地区の地域外の方を、野母崎に呼び込む施設として、現在の施設を活用していくとともに、今後とも効率的な運営のあり方を継続的に検討していきます。

皆さんからの提案

- 旧福祉保健センターの2階を展示室として活用し、施設の充実を図る

旧福祉保健センター



旧野母崎福祉保健センター

- ❁遊休資産は今後とも積極的に活用を図っていきます。
- ❁この施設の活用については、複数の活用のご提案がありましたが、この施設が立地する田の子地区に必要な機能として、何が優先されるのか、状況を見極めたうえで、活用方法を判断する必要があると考えています。
- ❁恐竜博物館のオープンまでに活用方法を決定していきます。

皆さんからの提案

- 軍艦島資料館の拡充
- 物産機能の取り込み
- 地域センターの移転

❁恐竜博物館の開館後は、田の子地区へ多くの人がかかることが予想されるので、今のままで、来訪者の需要を満たすことができるのか、今後の施設とサービス提供の方法について検討が必要です。

皆さんからの提案

- 現施設を解体し、旧福祉保健センターなどへの移転を行う

市営住宅



高浜第1住宅 高浜第2住宅 高浜第3住宅
 長野住宅 野母第1住宅 野母第2住宅
 野母第3住宅 赤瀬住宅 諸町住宅
 脇岬住宅 脇岬北港住宅 樺島住宅 熊之町住宅

- ❖ 将来的な住宅需要の減少が予測されますので、市全体で総戸数を縮小し、建替えの際は、いくつかの建物をまとめて建替えることで、効率的な維持管理を行います。
 - ❖ 野母崎地区では、老朽化した住宅から、できるだけ集約して建替えます。建替え地については、居住者アンケートと今回の対話でのご意見も参考としながら、決定していきます。
- ※建替えと同時にそれぞれの地区からすぐに市営住宅が無くなる訳ではありません。

皆さんからの提案

- 若い人や子育て世帯が入居しやすいようにする
- 交通の便や通学がしやすい立地にする
- 時代に合った間取りや設備にする

市営宿泊施設、レクリエーション施設

- ❖ 観光客や野母崎以外の地域から、人を呼び込む施設である、これらの施設については、現在の施設を使っていきますが、施設や運営のあり方などについては、今後とも継続的に見直しや検討を行っていきます。



野母崎炭酸温泉 Alega軍艦島 野母崎高浜海岸交流施設

ながさき暮らし体験施設



中長期型滞在施設

- ❖ 定住者を増やしていく取り組みはこれからも継続していきますが、この施設は老朽化が進み、耐震性もありません。今後は、民間の空き家の活用など、事業のやり方を工夫することとし、老朽化しているこの施設は解体します。
- ❖ 施設の廃止後は、売却により資産の有効活用を図っていきます。

小中学校



野母崎小中学校

- ❖ 既に学校の統廃合が終わっていますので、今の施設を大事に使っていきます。

カヌー艇庫



カヌー艇庫 中学校カヌー艇庫 野母崎カヌー艇庫 (旧海の健康村)

- ❖ 老朽化が進んだ建物もあるので、利用の実態を関係者によくお聞きし、今後は実態に合った適切な建物の維持管理へと見直していきます。

診療所



野母崎診療所

- ❖ 地域医療の確保の観点から、引き続き配置します。

消防出張所



南消防署野母崎出張所

- ❖ 人口分布や道路の状況を考慮して、地域の中で迅速で効率的な消火活動を行うことができる場所に配置します。

職員宿舎



診療所職員(医師)宿舎



地域おこし協力隊宿舎

- ❖ 医師確保の観点から引き続き、配置します。
- ❖ 事業が継続する限り、隊員の住居を確保します。

3 意見交換

※参加者からのご意見・ご質問と市からの回答の一部です。

軍艦島資料館の展示の見直しなどは、恐竜博物館が建つまで待つのか、それともやれることはすぐにやるのか？

軍艦島資料館のある旧福祉保健センターの空きスペースの活用については、他にも活用のご提案がありました。それらの優先順位の検討については、先延ばしにせず、恐竜博物館がオープンするまでに田の子地区に必要な機能を見極め、使い方を決めていきたいと思っています。

野母崎をどうしたいのか？

今回の対話で、いろいろな話がありましたが、物販をどうするのかや軍艦島資料館がそのままいいのかなど、まだ積み残しがあります。野母崎地区での大きな課題である田の子全体の整備計画については、皆様のご意見もお聞きしながら今後も引き続き検討していきます。

今回の話し合いにどんな意味があったのか？

旧樺島小学校の跡地活用の方法は、住民などから幅広く公募することができないか？

活用方法について、地域の方々から具体的なお提案があれば、是非、アイデアをお聞かせください。

野母崎をこれからどうするか、地域が一体になって真剣に考えないといけない時代に立っているというのを感じた。この対話で何かのきっかけをもらったと思って、話し合いを続けていきたい。

公共施設は、市民全員のものであり、行政だけではなく、住民だけでもなく、全員で考えていかななくてはなりません。今回の対話は、みんなで真剣に考えていけないといけないという、話し合いのきっかけになったと思います。

長崎市公共施設マネジメントアドバイザー
前橋工科大学 堤先生

4 今後の流れ

※この対話で出たご意見などを参考に、施設の整備計画は最終的に市で決定していきます。

住民対話(全4回)



ご意見・ご提案

地区別計画の策定



皆様からの
ご意見・ご提案
を参考に
市でとりまとめ

公共施設の地区別計画を策定しましたら、野母崎地区の皆さんへ改めてお知らせいたします。たくさんのご意見・ご提案をありがとうございました。



◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室(☎直通：095-829-1412)